

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第15週の発生動向

### 全数報告の感染症 (15週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。  
4類感染症：報告なし。5類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	女	肺結核	咳、痰
		都城	70歳代	女	頸部リンパ節結核	頸部腫脹
		高千穂	80歳代	男	疑似症患者	咳、痰、発熱
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	延岡	5~9歳	男	—	発熱、腹痛、反跳痛、筋性防御

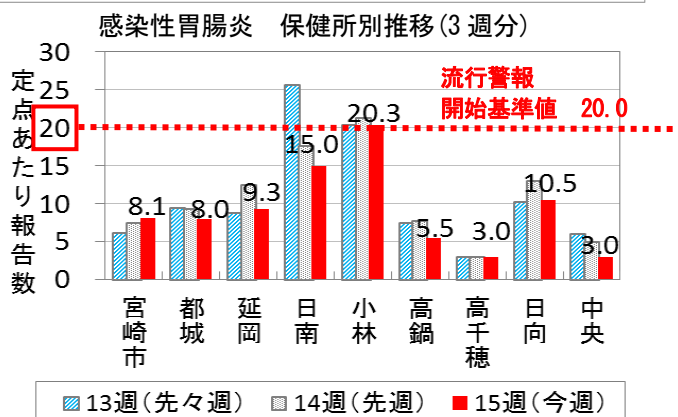
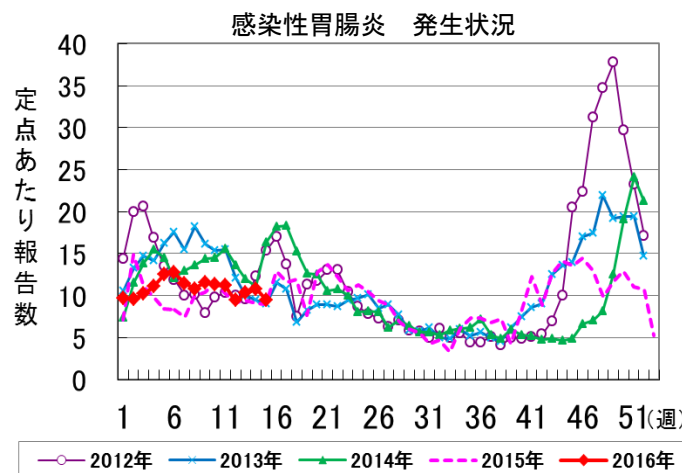
### 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は1,029人(定点当たり30.3)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

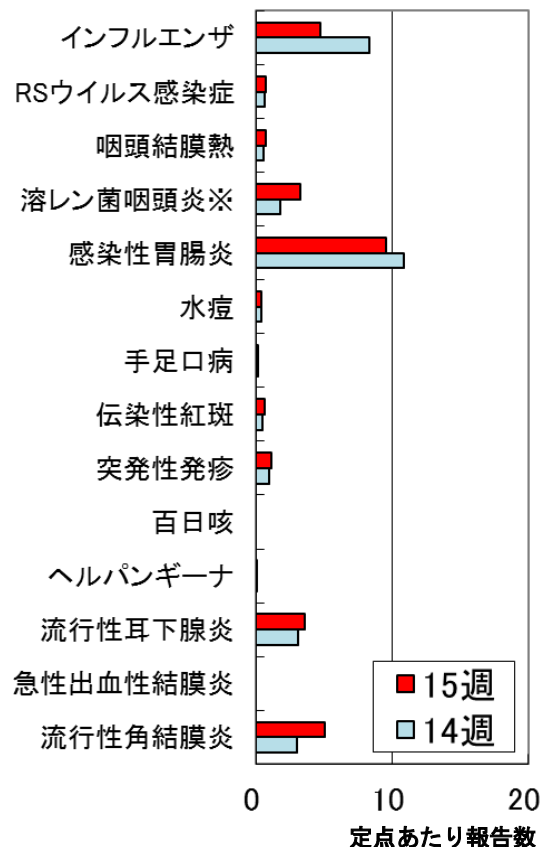
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【感染性胃腸炎】

・報告数は342人(9.5)で、前週比88%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値\*(13.0)の約0.7倍であった。小林(20.3)、日南(15.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約4割を占めた。



### 《前週との比較》

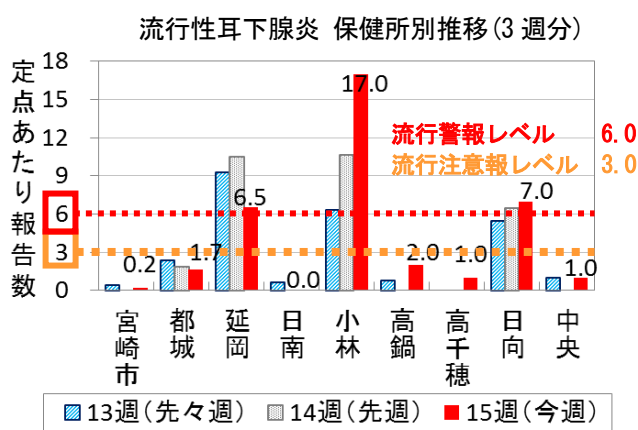
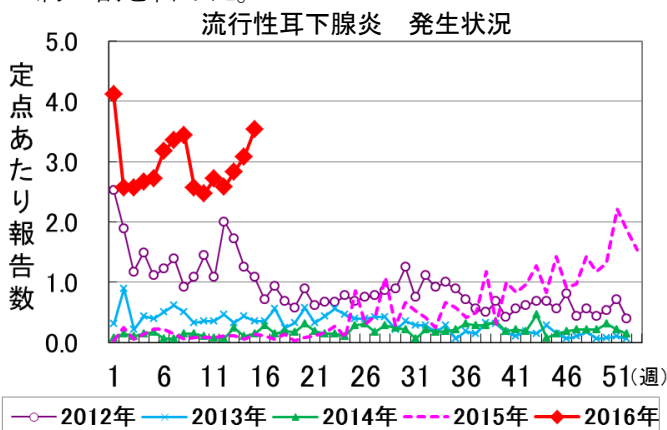


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

【流行性耳下腺炎】

・報告数は127人(3.5)で、前週比114%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(0.83)の約4.3倍であった。小林(17.0)、日向(7.0)、延岡(6.5)保健所からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約6割を占めた。

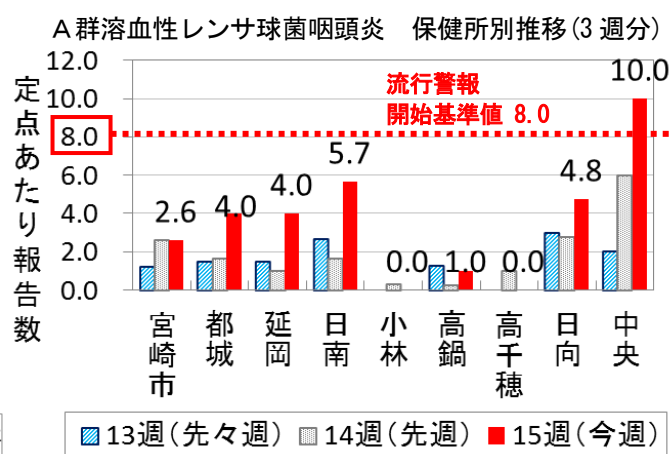
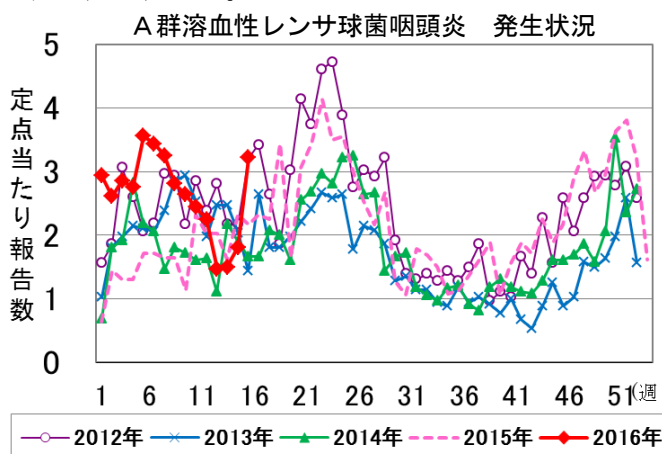
\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は116人(3.2)で、前週比178%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(2.7)の約1.2倍であった。中央(10.0)、日南(5.7)、日向(4.8)保健所からの報告が多く、年齢別では3~5歳が全体の約6割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス) : 宮崎市保健所から3例、延岡保健所から1例、高鍋保健所から1例報告があった。0~4歳が5例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性耳下腺炎(6.5)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(20.3)、流行性耳下腺炎(17.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	流行性耳下腺炎(7.0)
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

## 全国 2016 年第 14 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 14 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	319 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	15 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	8 例	A 型肝炎	7 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	9 例	日本紅斑熱	1 例	マラリア	2 例
	レジオネラ症	14 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8 例
	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6 例
	後天性免疫不全症候群	18 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性肺炎球菌感染症	41 例
	水痘（入院例）	1 例	梅毒	59 例	播種性クリプトコックス症	4 例
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	風しん	2 例
	麻しん	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 80%と減少した。前週と比較して大きく増加した疾患はなかった。減少した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は34,672人(7.0)で前週比63%と減少した。福井県(15.4)、新潟県(14.5)、鹿児島県(13.0)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が25%、5-9歳が26%、10-14歳が9%、15-19歳が4%、20-59歳が27%、60歳以上が9%であった。

流行性耳下腺炎の報告数は2,568人(0.81)で前週比90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.45)の約1.8倍であった。宮崎県(3.1)、山形県(2.9)、沖縄県(2.4)からの報告が多く、年齢別では4~6歳が全体の約4割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第15週(4月11日～4月17日)

疾病名		第14週	第15週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	490	279	74	59	25	14	32	47	7	12	9
	定点あたり	8.31	4.73	4.63	5.90	3.57	2.80	6.40	7.83	3.50	2.00	4.50
RSウイルス 感染症	報告数	21	26	4	7	2		10			3	
	定点あたり	0.58	0.72	0.40	1.17	0.50	0.00	3.33	0.00	0.00	0.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	24	3	6	7	4	1	1		1	1
	定点あたり	0.50	0.67	0.30	1.00	1.75	1.33	0.33	0.25	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	65	116	26	24	16	17		4		19	10
	定点あたり	1.81	3.22	2.60	4.00	4.00	5.67	0.00	1.00	0.00	4.75	10.00
感染性胃腸炎	報告数	389	342	81	48	37	45	61	22	3	42	3
	定点あたり	10.81	9.50	8.10	8.00	9.25	15.00	20.33	5.50	3.00	10.50	3.00
水痘	報告数	13	13	4		2	1	1	3			2
	定点あたり	0.36	0.36	0.40	0.00	0.50	0.33	0.33	0.75	0.00	0.00	2.00
手足口病	報告数	6	5	2	1		2					
	定点あたり	0.17	0.14	0.20	0.17	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	16	21	11	5	1		1	2			1
	定点あたり	0.44	0.58	1.10	0.83	0.25	0.00	0.33	0.50	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	35	39	13	5	4	5	4	4		2	2
	定点あたり	0.97	1.08	1.30	0.83	1.00	1.67	1.33	1.00	0.00	0.50	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	2					2				
	定点あたり	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	111	127	2	10	26		51	8	1	28	1
	定点あたり	3.08	3.53	0.20	1.67	6.50	0.00	17.00	2.00	1.00	7.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	30	18	12							
	定点あたり	3.00	5.00	6.00	6.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	4	5	3		1			1			
	定点あたり	0.57	0.71	3.00	0.00	1.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～15週)

2類感染症	結核	54例(3)			
4類感染症	A型肝炎	3例	つづが虫病	4例	
	アメーバ赤痢	7例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎 7例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群 2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	3例(1)	梅毒 4例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例	

( )内は今週届出分、再掲